

# ストップ 虐待 子ども

## 守るのは気づいたあなたのその勇気

### 11月は、児童虐待防止推進月間です

この月間では、子ども虐待防止について理解をより一層深め、自主的な関わりをもっていただくための意識啓発を図っています。市民の皆さんも子どもを虐待から守るためにご協力をお願いします。

今月のテーマは「しつけ」についてです。



#### 三つ子の魂 百まで

昔から「三つ子の魂百まで」(幼い頃の性格は年を取っても変わらない)と言われていますが、これはある意味では本当かもしれません。1歳の誕生日を過ぎ、言葉を少しずつ子どもが覚えていくと、それに伴って、自己主張が増えていきます。

1歳半から2歳頃までに「いやー」を連発する反抗期に入っていきます。そこから3歳くらいまでには「しつけ」の行動に影響していきます。

#### しつけは罰を与えるんじゃないよ

しつけと言いつつ、子どもが間違えたことをした時に罰を与えることだと誤解している人がいますが、しつけは罰を与えることではありません。しつけとは(社会に)適応していくためのルールを子どもに教えることであって、それは愛情を注ぐことによっても達成できるものなのです。

1歳から3歳までの幼児にとつて、子猫を叩いたり、道路に飛び出したり、他の子どもの髪の毛を引

#### 子どもは親の鏡である

しつけは、愛情を持って行うわけですが、一番いい方法は、子どもにしてほしい行為を親自身が手本を見せることです。子どもが悪いことをした時に、親がどなりどり叩いたりすると、子どもは自分もそうした行為をしていいと誤解をしてしまいます。親が子猫を優しく撫でるといふ手本を見せると、子どもはそれを真似て、優しく子猫を撫でるようになります。子どもにしてほしくない行為は、決して子どもに対してしてはいけません。

#### しつけは根気が必要

幼児は、何度も何度も失敗しながら学んでいきます。そうした学習の過程を受容する態度が親に必要になってきます。根気よく「教える」「理解してもらう」ということを行つたのです。幼児は、衝動に基づいて行動するので、一度や二度間違つたからといって、怒ったりしないで、温かく見守ってあげてください。親業(おやぎょう)には、愛情と共に根気も必要なのです。

#### 最大のポイントは褒めてあげること

子どもがよいことをしたとき、大いに褒めてあげましょう。そして喜んで、抱きしめてあげましょう。親から構ってもらつて、褒めてもらうことが子どもにとって最大のご褒美なのです。お菓子をあげるよりずっと大切です。

逆に、子どもが最も恐れていることは、親から無視されることです。子どもは親から構われていないと思うと、わざと悪いことをして、親の怒りを買うこともあります。そこまですべて親の関心が欲しいのです。

#### 見逃さないでたすけてサイン

虐待を受けている子どもたちは、少なからず何らかのサインを出しています。この虐待のサインこそが援助を求める「子どもの声」であり、気づいたあなたからの通告が頼りです。

- 【子どもからのサイン】
- 不自然なあざ・やけど
  - 衣服やからだの不潔
  - 無表情、大人をおびえる
  - 落ち着きがない、乱暴
- 【保護者からのサイン】
- 子どもを家に置いたままよく外出する
  - いつもイライラして子どもに当たる
  - 地域で孤立している
  - 子どもの健康や安全への配慮がされていない



#### 相談先 (通告先)

- 子ども家庭相談課 ☎(25)85517
- または市内各保健センター
- 滋賀県中央子ども家庭相談センター ☎077(566)1121

### 第2回 子育て講座

## 父親であることを楽しもう！ ～仕事も家庭も楽しむ方法～

**講師** 安藤 哲也さん  
(NPO法人ファザーリング・ジャパン代表)

**日時** 11月27日(日)  
13時30分～15時30分(受付:13時～)

**場所** 大師山さくら園

★参加無料

★無料の託児があります。電話でお申し込みください。  
・対象 生後4か月～3歳のお子さん  
・定員 30人(先着順)

#### 参加申し込み・お問い合わせ

各地域子育て支援センターにお電話ください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| マキノ…☎(27)8187 | 安曇川…☎(33)1540 |
| 今津…☎(22)4833  | 高島…☎(36)0660  |
| 朽木…☎(38)2070  | 新旭…☎(25)3399  |

#### ●講師Profile ……

1962年生まれ。二男一女の父親。出版社、書店、IT企業などを経て、2006年に同NPOを設立。「育児も、仕事も、人生も、笑って楽しめる父親を増やしたい」と、企業・一般向けのセミナーや父親による絵本の読み聞かせなどで全国を飛び回る。厚生労働省「イクメンプロジェクト推進チーム」座長、内閣府「男女共同参画推進連携会議」委員。著書に『パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方～』がある。